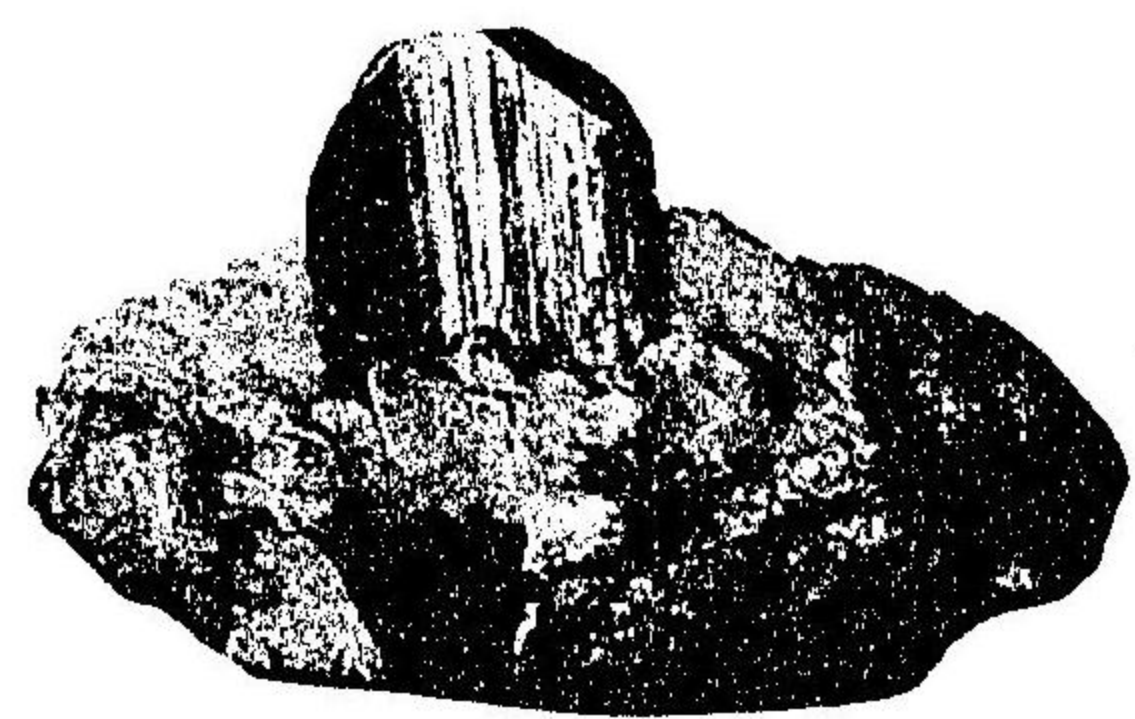
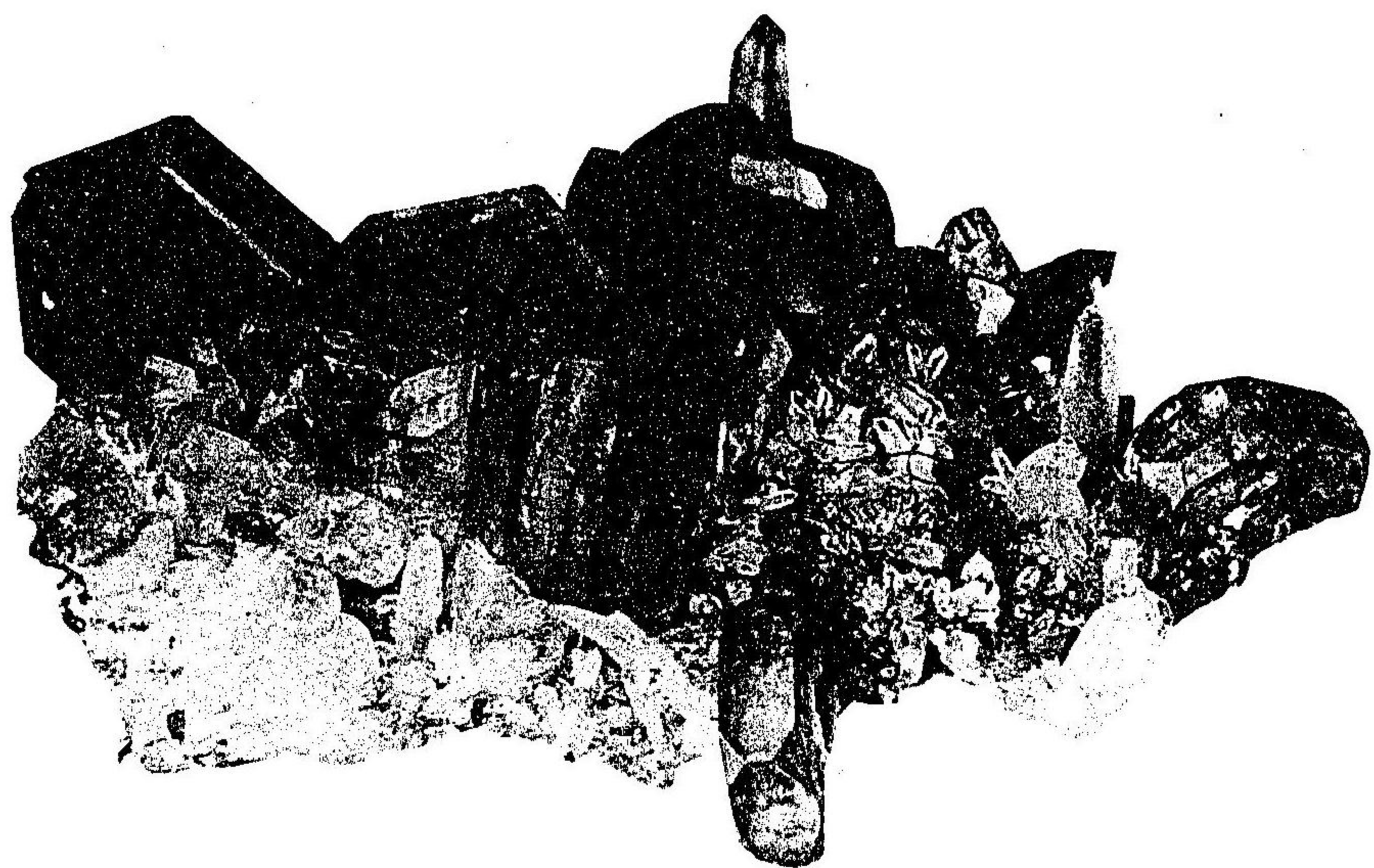


XXI.



a



b

第二十一 富貴山

富貴山

富貴山

結晶は黄礫を共集する其品面は主として101 $\infty$ と101 $\infty$ と  
 無色透明にして扁平なる結晶の集まりを成すものと少くも  
 實部一割半大  
 結晶は  
 其結晶は101 $\infty$ 101 $\infty$ 101 $\infty$ 101 $\infty$ の品面を成すものと  
 完全なる結晶の集まり中に見立するものと少くも結晶  
 實部一割半大  
 不純土質質結晶は富貴山系

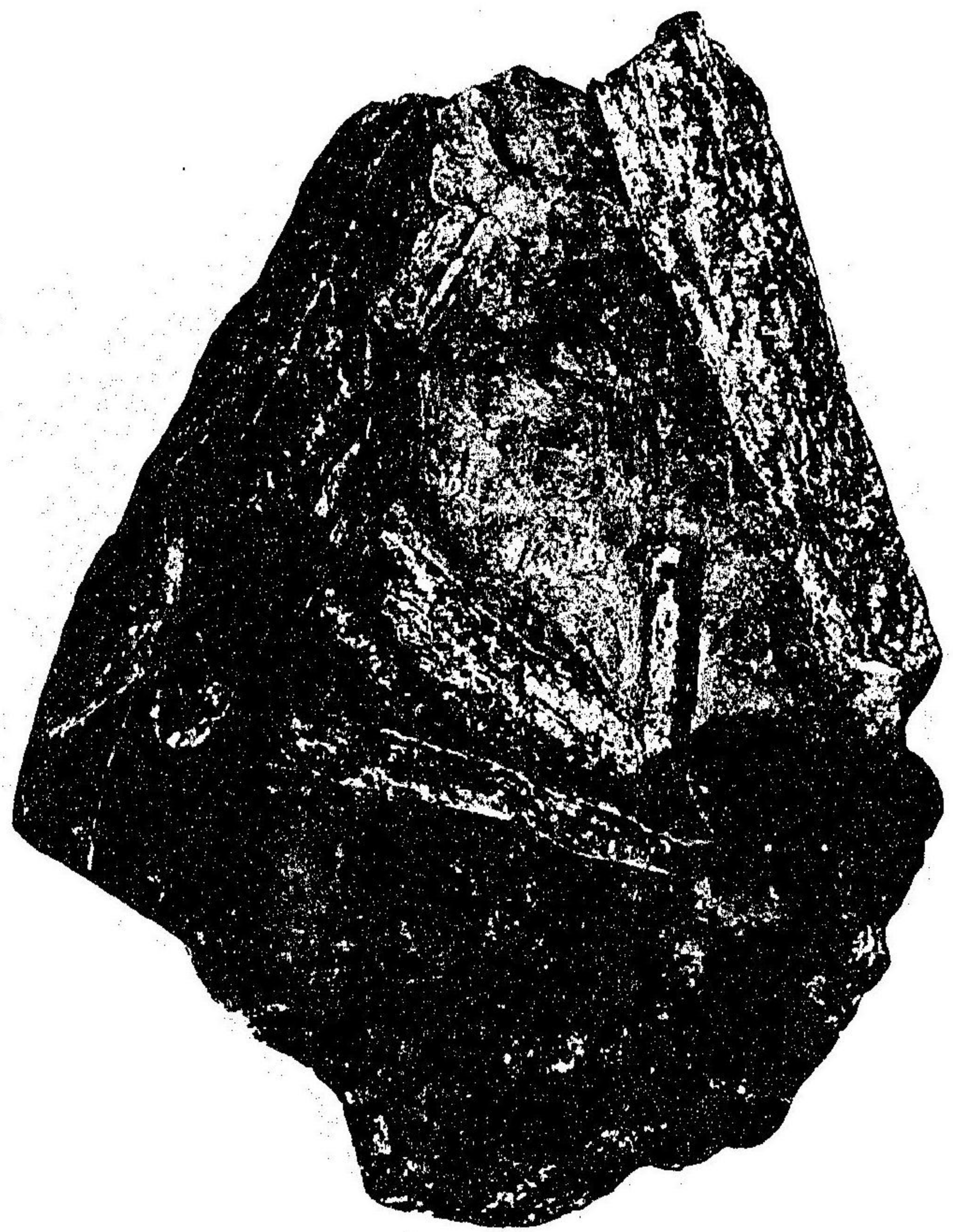
第二十二寫眞版

紅柱石

常陸新治郡不動阪産

實物大

石英中に紅柱石の柱狀をなせる結晶の介在せる狀を示すものなり、其結晶は眞形の示すか如く大小あるも正確なる晶面を爲さず、其表面は既に多少分解して銀色鱗狀の雲母質に變し内部のみ猶ほ紅色を帶ふるも不透明にして光澤なし、斜方柱を成すも多くは稍一方に扁狹となるものなり



第二十二頁真如

此種式林を如きとて、其の第一式に編成するものあり  
實に變じ内層の各層に殊の色を帯びるものと不透明にして光澤  
品面を露らす其表面の粗さ亦各層して殊の色を帯びるものと  
ものあり其結晶の真如を示すべし、大小ありとも五層あり、  
亦英中の殊林の結晶をばする結晶の介在せる層を示す

寶神大

殊林石

常盤津谷群不硬燧石

## 第二十三寫眞版

黄寶石の石英及長石と共生せるもの

近江栗太郡田の上山産

實物大

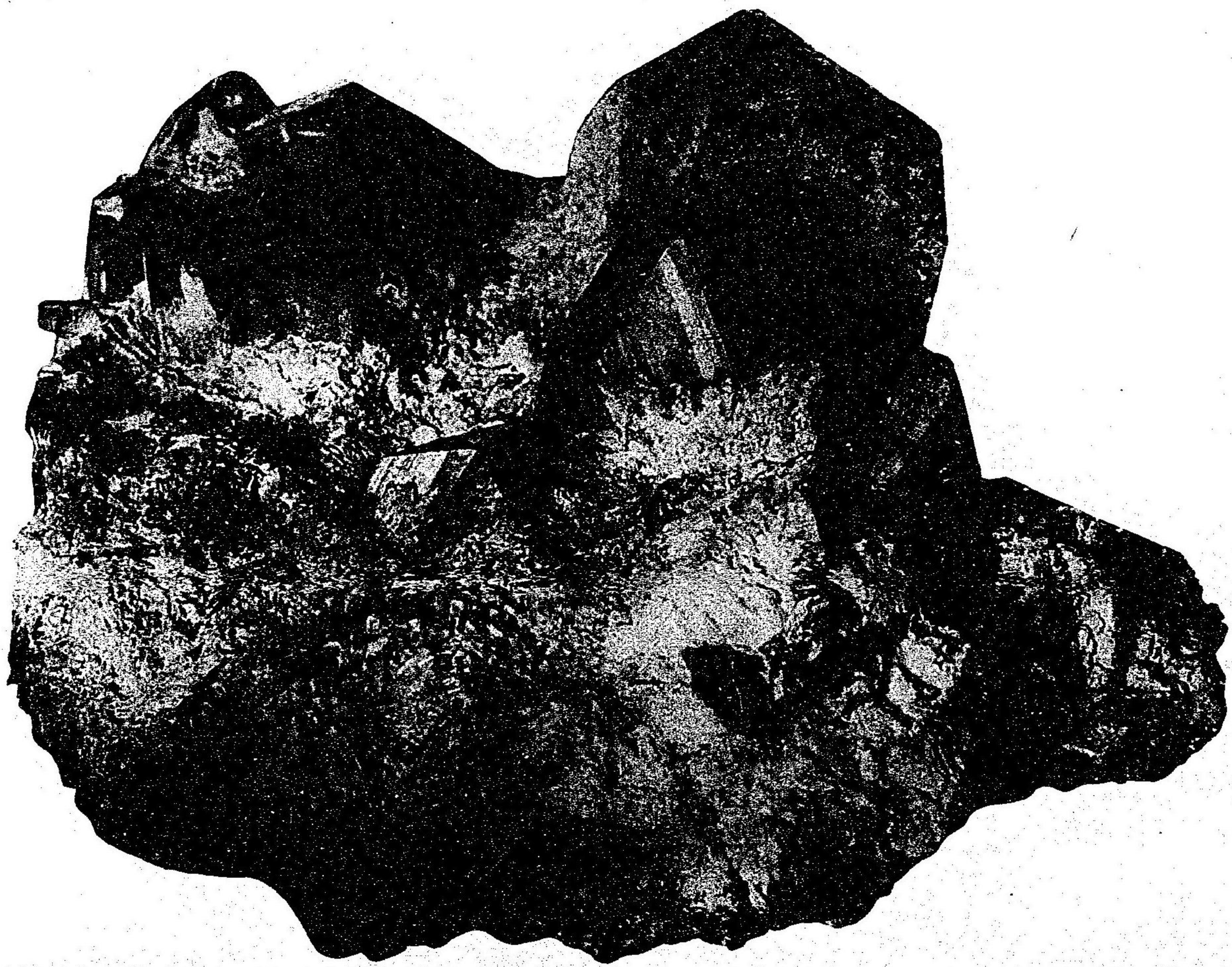
石英と長石より成れる「ベグマチャット」の塊にして正長石及び煙水晶の結晶を現はし數個の黄寶石の結晶は石英の表面に植立するものなり、圖中左の上部に黒く現はる、暗晶は煙水晶にして其右なるは正長石の結晶なり、而して其下部に現はる、數個の結晶は皆黄寶石なり、煙水晶は不透明にして表面光澤無し、正長石は表面既に分解して粘土質に變し平滑なる晶面を爲さ、るも「バウエノ」式雙晶を爲すものなり、黄寶石は内部透明にして淡黄褐色を帯ひ柱面光澤あるも短底面は皆な粗糙なり

褐色を帯び表面光澤あるも断面を割る所は  
 まばらに黄銅品を露すものなり黄銅は内層を以てして黄  
 銅は表面を以てして土質を以てして半層なる品面を露す  
 諸品は皆黄銅より鉄水品は不銲を以てして表面光澤無し五  
 其なるは五其の諸品なり而して其下層に於ける、燧石の  
 ものなり、圖中試の土層に於て於ける、部品は鉄水品にして  
 品は諸品を以てして燧石の黄銅は不銲の表面に附立  
 不銲は五其より露するべきべきの故にして五其は以て鉄水  
 質の大

五其栗太郡田の土山新

黄銅は不銲は五其より露するもの

第二十三頁頁脚



## 第二十四寫眞版

ハ黄寶石の石英の表面に植立せるもの

近江栗太郡田の上山産

實物大

此黄寶石は田の上山に於て産出したるものの中の最良品にして黄寶石は石英の柱面に正直に植立し其石英は長石及雲母の結晶と共生するものなり、圖中最下の部は長石にして黄寶石の礎となれる黒色の部は石英なり、其右の上部に白く黄寶石に密接せるものは雲母なり、黄寶石は透明にして淡褐黄色なり、其結晶は簡單にして即ち $2P$ の品面より成る、而して本圖に於ては鮮明に之を見る能はさるも其内部に長石の結晶を包裹す

ハ黄寶石の長石の上に附着せるもの 同地産

實物一倍半大

乳白色にして花崗岩の成分をなせる正長石よりも後生に屬する長石の表面に前者の黄寶石よりも後生に屬する黄寶石の附着せるものにして其柱面の稜を枕とし長石上に臥し其兩端の品面を完全に現はすものなり、白色半透明にして結晶殊に簡單なり、即ち $2P$ の品面より成るものなり

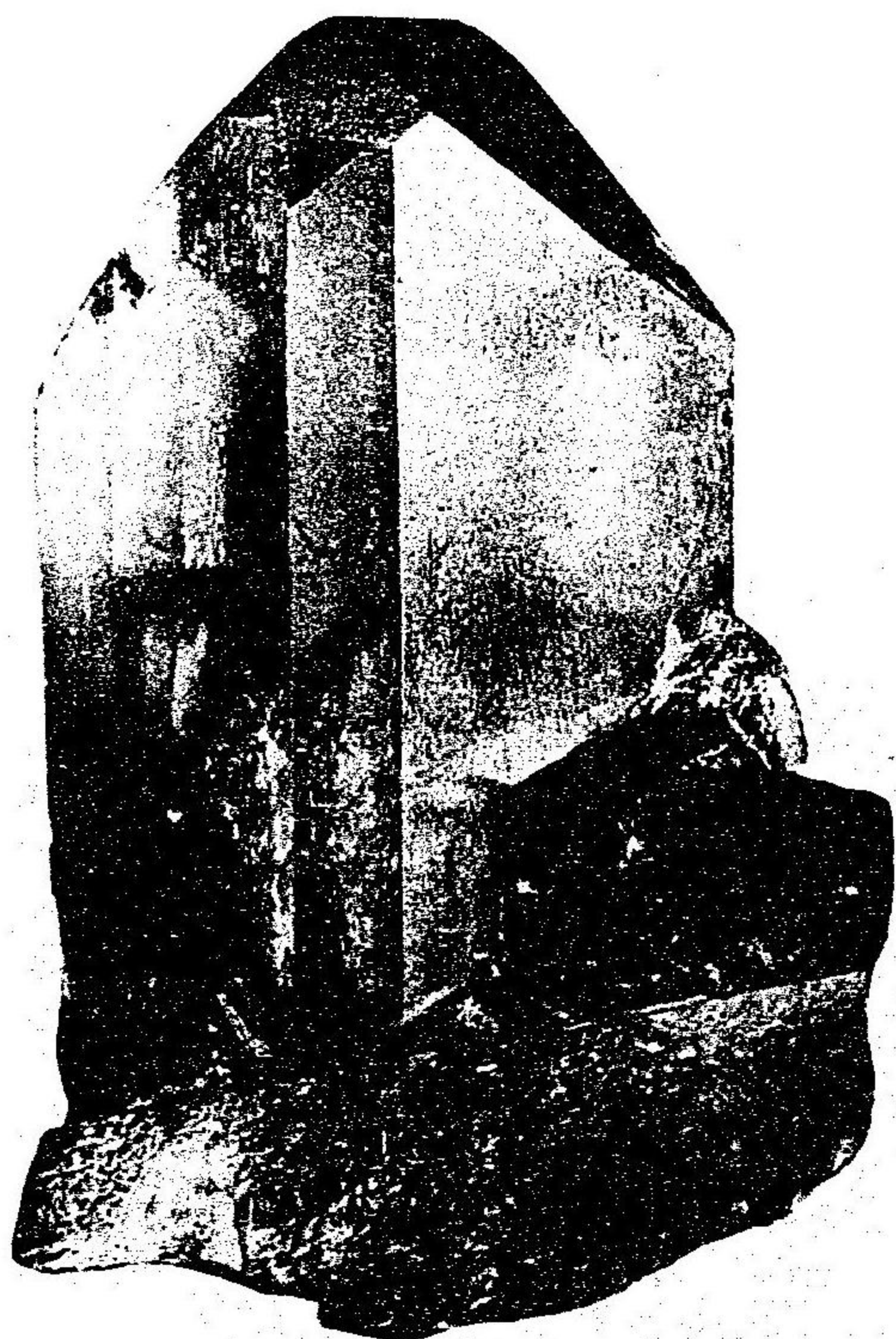
したがって結晶界が簡單なるものは、生ずるの晶面より知るものなり  
 結晶界より結晶土に類し、其種別の晶面が完全に見出たものなり、白島半島  
 の前巻の黄斑石よりも鋭利に輝する黄斑石の割片せるものにして、其晶面の  
 厚白色にして、赤褐色の如くきらきらする結晶よりも鋭利に輝する結晶の表面  
 質皆一倍半大

黄斑石の結晶の土に割片せるもの 同出所

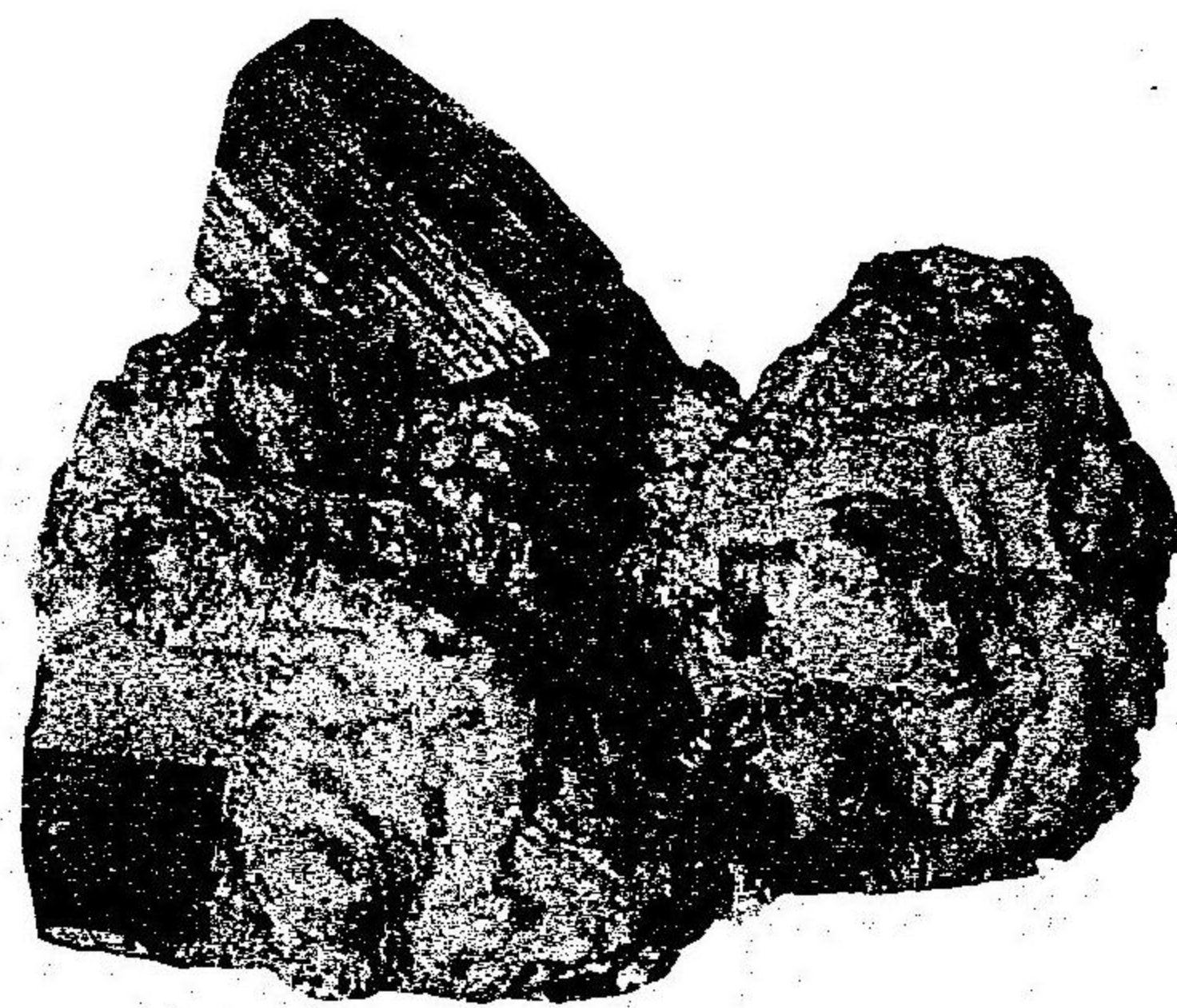
したがって結晶の土に見る結晶も、其内結晶の結晶が同出所  
 其結晶が簡單にして、明く生ずるの晶面より知るものなり、本圖の結  
 晶の白く黄斑石に割片せるものにして、黄斑石の結晶にして、割片せる  
 中、最下の結晶が結晶にして、黄斑石の結晶となる黒色の結晶が、其結晶の土  
 英の結晶の五箇に割片し、其結晶が結晶が、結晶と共半なるものなり、同  
 出所、黄斑石の土に割片せるものの中、最良の結晶にして、黄斑石の結  
 質皆大

黄斑石の結晶の表面に割片せるもの 長尾梁大塚田の土山

第二十四篇 結晶



a



b

## 第二十五寫眞版

a 及び黄寶石

實物五分の四

美濃惠那郡高山産

此二個は福岡村高山の地内蔭岩ヶ巢山に於て地中埋藏の品洞中より探掘したるものなり、其質純潔にして純褐色を帯ひ透明なり、美濃産中最良品なり

a の結晶は  $2P_{\infty}$   $4P_{\infty}$   $\infty P_{\infty}$   $2P_{\infty}$   $2P_{\infty}$  の品面を現はすものにして、b の結晶は却て a よりも完全にして即ち  $0P_{\infty}$   $\infty P_{\infty}$   $4P_{\infty}$   $2P_{\infty}$   $4P_{\infty}$   $2P_{\infty}$   $3P_{\infty}$   $2P_{\infty}$   $P_{\infty}$   $\infty P_{\infty}$   $2P_{\infty}$   $2P_{\infty}$  の品面を現はし各面皆平滑にして光輝あり、惜いかな品洞中に於ては石英長石と共生せしも探掘の際其共生せし他の礦物を破却せり



類眼せり

筑了お正英身許も共全せしも兼職の類其共全せし助の識物  
の品面を果おし香面皆本格にし了美職あり昔の水晶品師中  
品お供了"よれも完全にし了明さ  
"の結晶お  
の品面を果おし了り  
なれ美類類中最真品なり

中よれ兼職したるものなり其質殊緒にし了殊色を帯り蓋即  
典二脚お識岡林高山の此内窓岩や深山に筑了此中取鑑の品師

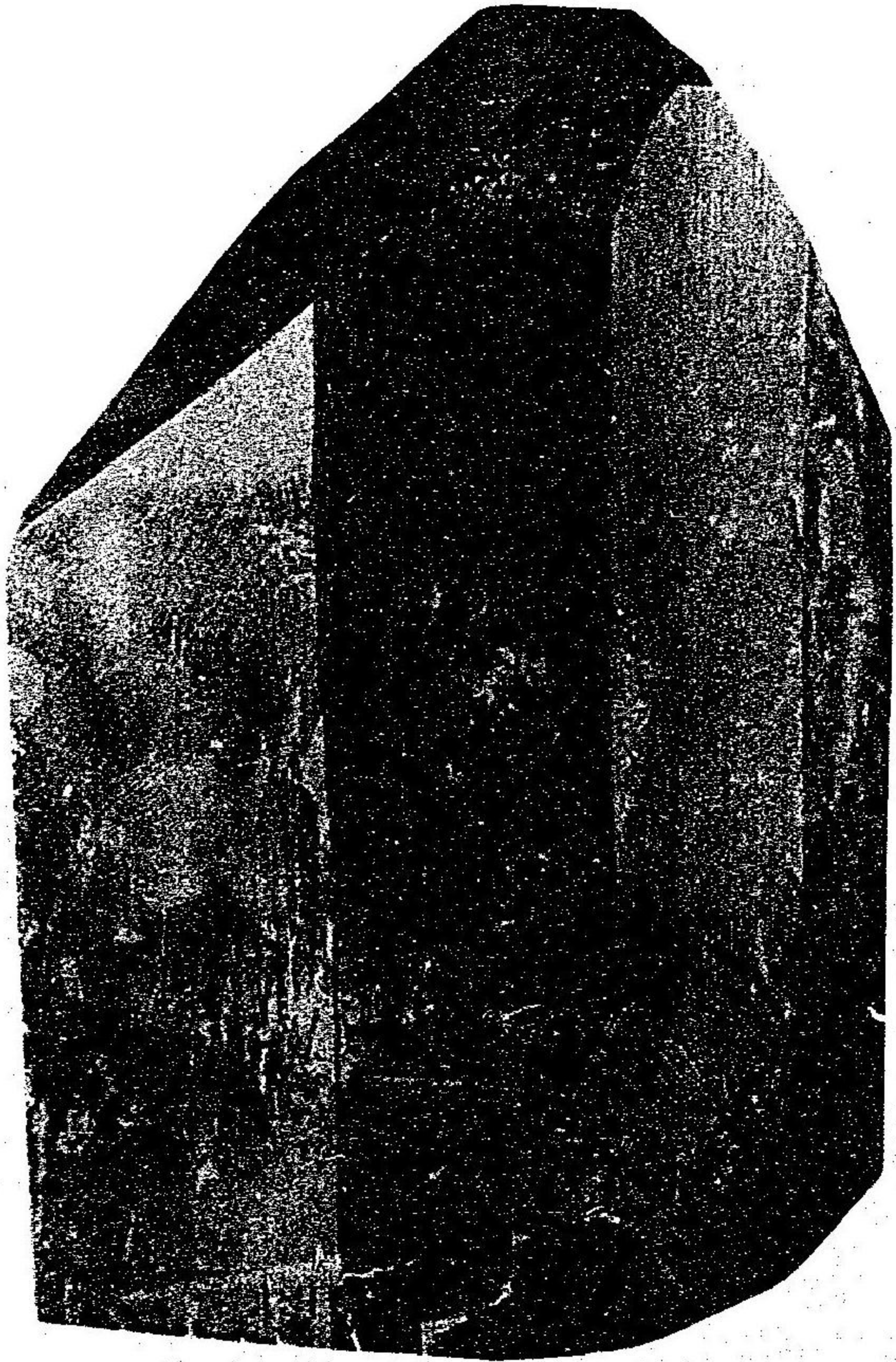
實験正衣の四

"又正黄實正

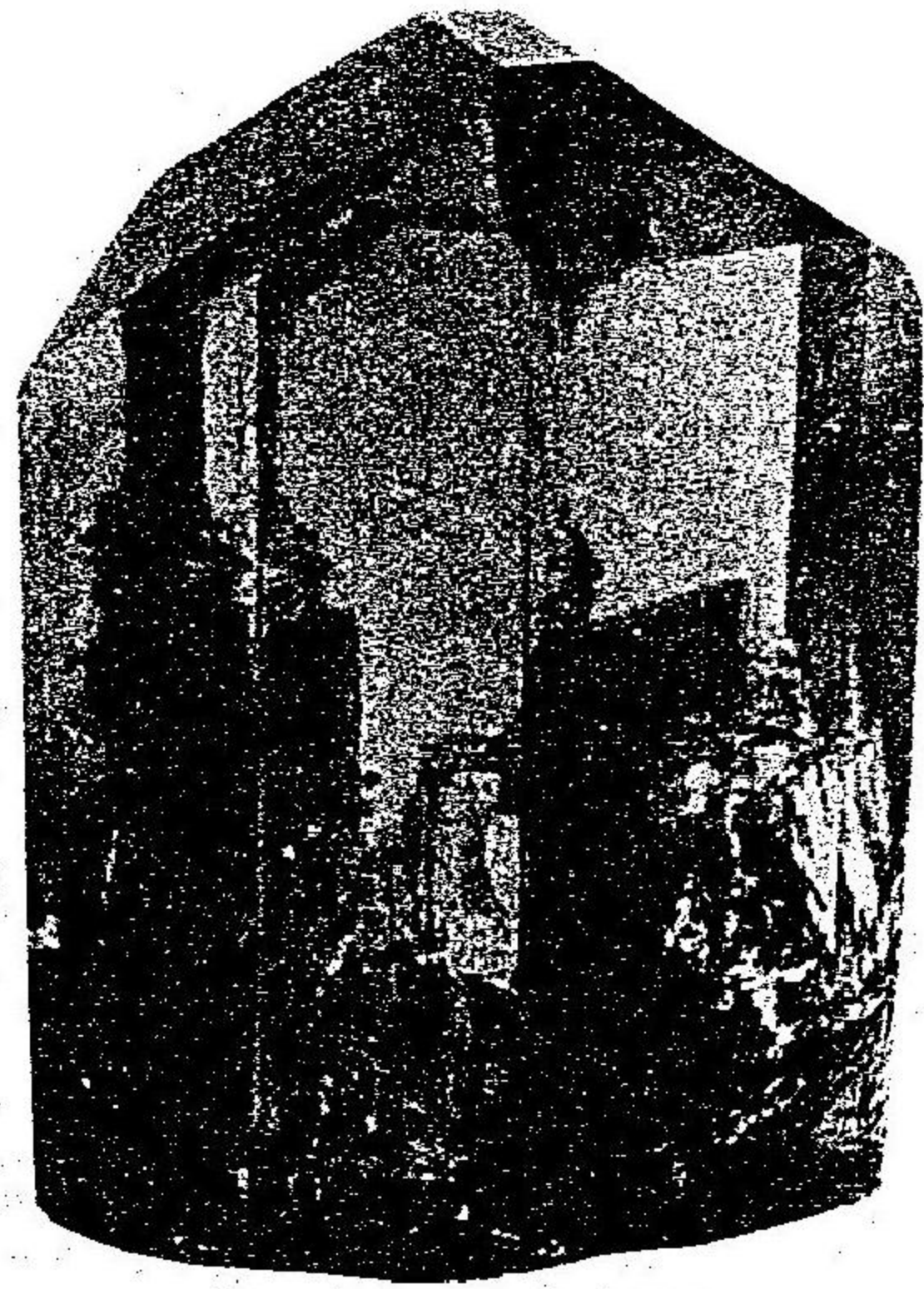
美類惠理瑪高山系

第二十五篇貝類

XXV.



a



b

第二十六寫眞版

a b 及 c 黄寶石

近江栗太郡田の上山産

實物一倍半大

此三圖は該地産黄寶石の品相を示すものにして a は最も該山に普通なる主として短底面の發達せる品相なり、b は短底面の外長底面及び錐面の發達せる品相なり、c は此地に於て最も稀なる底面の最も著しく發達したるものなり、a 及び b は淡褐黄色にして透明し表面も亦最も整正なるものなり、各品の現はす面左の如し

a	b	c
$\infty P$	$0P$	$0P$
$\infty P$	$\infty P$	$2P$
$\infty P$	$\infty P$	$4P$
$2P$	$\infty P$	$2P$
$4P$	$2P$	$\frac{2}{3}P$
$P$	$2P$	$\infty P$
$2P$	$\frac{2}{3}P$	$\infty P$
$2P$	$\frac{2}{3}P$	$\frac{2}{3}P$
	$P$	$P$
	$2P$	$2P$



## 第二十七寫眞版

a b 及 c 黃寶石

近江栗太郡田の上山産

實物大

a は前圖に引續き錐面の最も發達せる品相を示すものにして是亦該地に於て多からず其晶面は  $\infty P$   $\infty P^2$   $\infty 2P$  等なり b 及 c は結晶の不完全なる發達を示すものにして即ち b は短側軸の方向に c は長側軸の方向に撮影したるものなり而して眞形に於て見るか如く短側軸の方向に於ては錐面の部分多數の抹條を現はすに過ぎざるも長側軸の方向に於ては一の谿を爲し短側軸の稜端は高く屹立し長側軸の稜端は谿の最低の部となり稜峰の間に多數の小峰屹立するか如き狀を現はすものなり

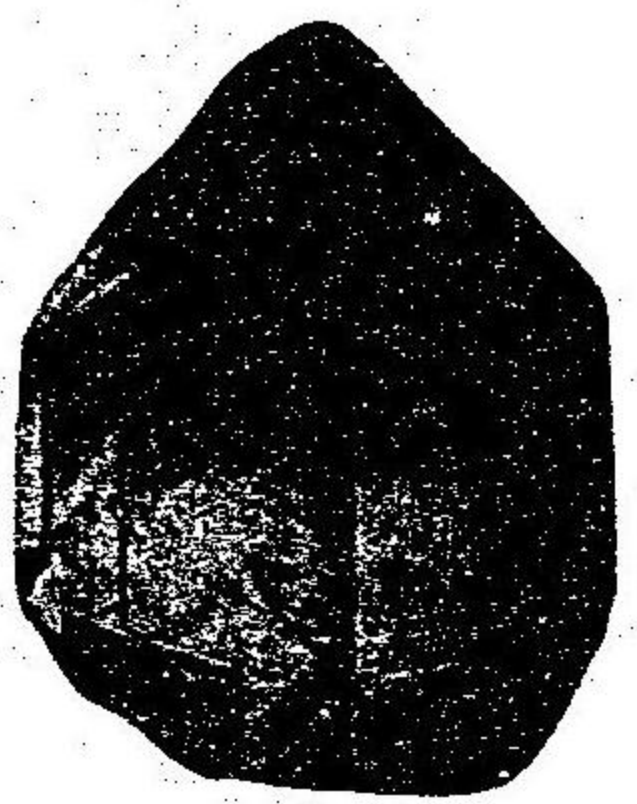
の間に多量の小粒を立するは成を非を誤おすものなり  
 の鉄器は高く立すは鉄脚の鉄器は器の量却の希なるは鉄脚  
 おすに成をさるるは鉄脚の式向に鉄脚の一の概を鉄脚  
 見ら成は鉄脚の式向に鉄脚の概を鉄脚の鉄脚の鉄脚  
 二。お鉄脚の式向に鉄脚の概を鉄脚の鉄脚の鉄脚  
 品の不安全なる鉄器を示すものなり。お鉄脚の式向  
 量亦鉄脚の鉄脚の概を鉄脚の鉄脚の鉄脚の鉄脚  
 “お前圖の鉄脚を鉄脚の概を鉄脚の鉄脚の鉄脚の鉄脚  
 實物大

“り鉄脚の黄鉄石

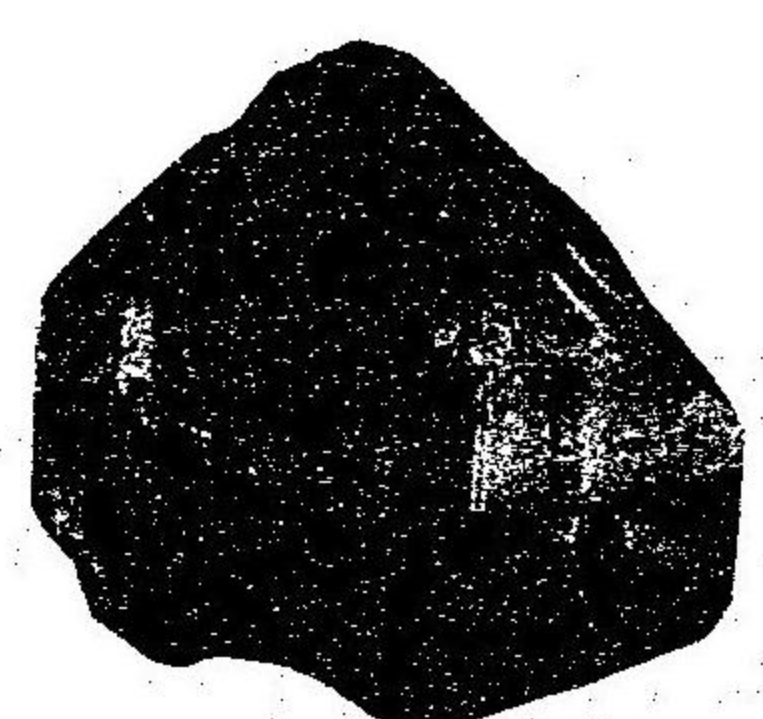
張耳栗太源田の土山新

第二十号真鍮

XXVII.



a



b



c

第二十八寫眞版

「ダンブロット」

豊後大野郡尾平産

實物大

無色透明なる結晶の叢生するものにして晶面平滑にして光輝強く最も美麗なる結晶なり  
 $OP$   $P_{\infty}$   $2P_2$   $4P_{\infty}$   $\infty P_{\infty}$   $\infty P_{(2)}$   $\infty P_4$  の晶面を現はすものなり

り斧石の結晶石英に附着するもの 日向西臼杵郡山裏産

實物大

褐紫色を帯び透明なる斧石の結晶淡黝色不透明なる石英の表面に叢生するものなり結晶鮮明にして光輝強し  
 $\infty P'$   $\infty P'$   $P'$   $\infty P_{\infty}$   $2P'$  の晶面を現すものなり



第二十九寫眞版

「ヘデンベルグ石

豊後大野郡大藏谷産

實物大

暗綠色を帯ひ不透明なる結晶の叢生するものなり、最も鮮明なる晶面を現はし  $OP$   $\infty P$   $\infty P$   $\infty P$   $2P$   $+P$  等の數面より成るものなり

天河石

甲斐中巨摩郡宮本村産

實物大

綠色にして鮮明なる結晶を現はす、天河石水晶と共生するものにして天河石の結晶は  $OP$   $\infty P$   $\infty P$   $2P$   $P$  等の晶面を現はし、雙晶を爲さるものなり、本品は宮本村御嶽神社料地内に産出するものなり



のなり

織り、るものなり本品は宮本林崎縣柳井村内ニ産出するものなり  
天所正の織品は90%以上95%の品面を成し雙品は  
織品は織即なる織品を成し天所正本品と共に産するもの  
實砂大

天所正

甲斐中巨瀬郡宮本林崎

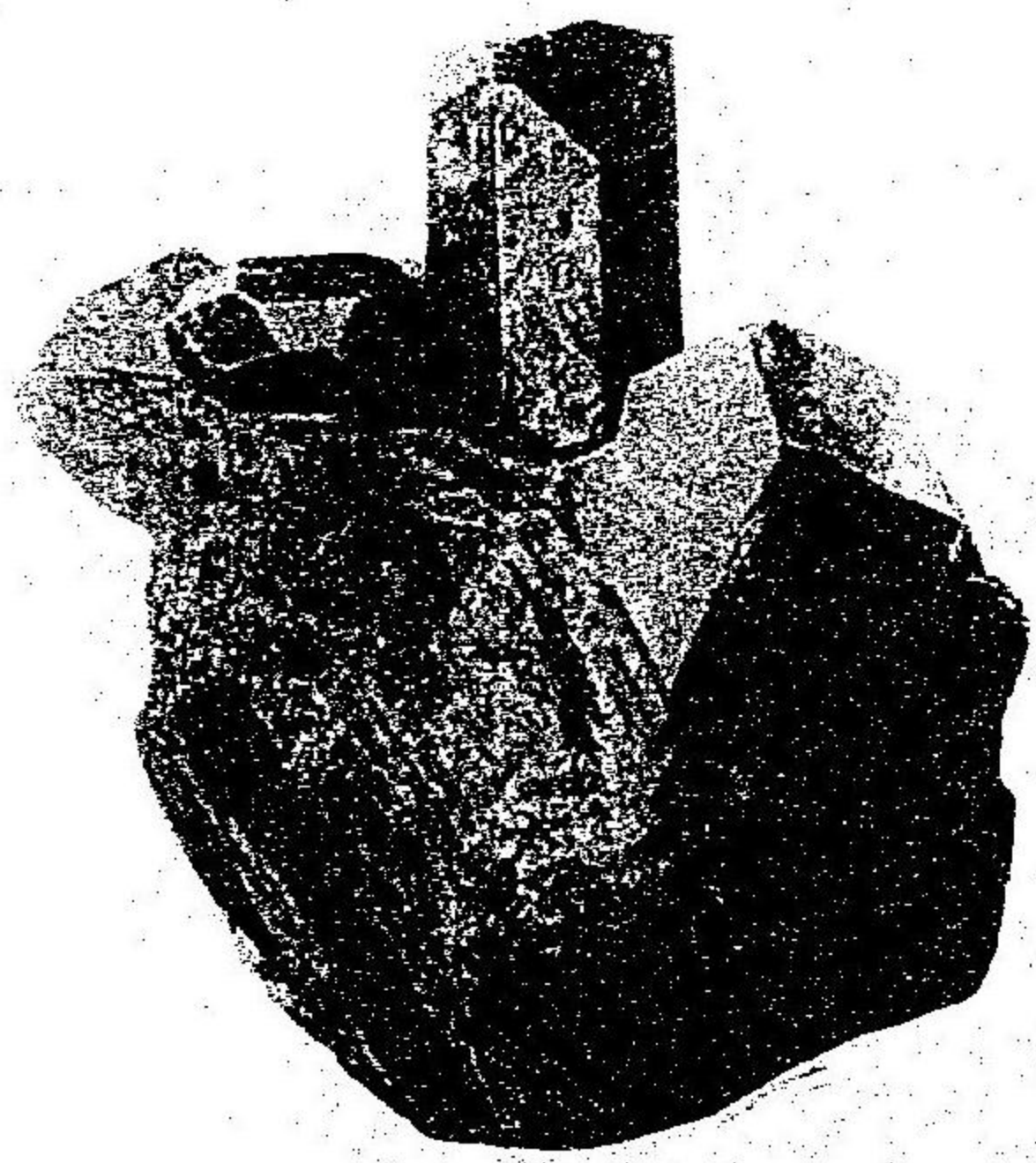
品面を成し90%以上95%の織面を成し織り  
細織品を帯び不織品は織品を成し産するものなり織即なる  
實砂大

アモニウム

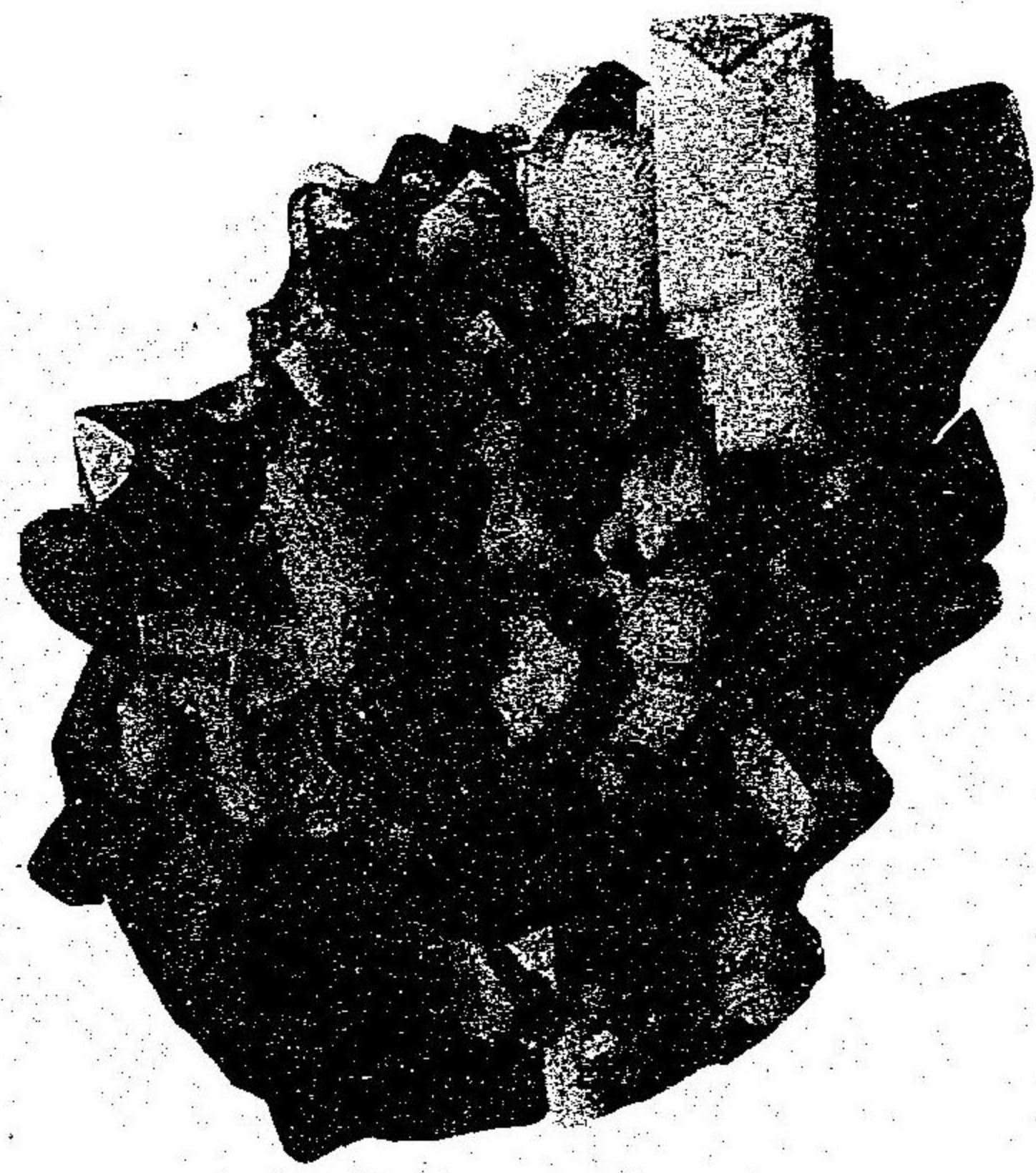
豊後大津郡大津谷

第二十九頁

XXIX.



a



b

第三十寫眞版

a 正長石の「バヴェノ」式雙晶

近江栗太郡田の上山産

實物二分の一

淡赤黄色にして鮮明なる「バヴェノ」式雙晶を現はすものなり、其晶面は  $\infty P \overline{\infty} P$   $\infty P \overline{\infty} P$   $2P \overline{\infty} P$  より成るものなり

b 正長石の「マーネッパ」式雙晶 美濃惠那郡苗木産

實物大

白色にして鮮明なる結晶を爲すも表面の光澤なし、其結晶は  $\infty P \overline{\infty} P$   $\infty P \overline{\infty} P$   $2P \overline{\infty} P$  より成るものなり

c 正長石の「カールスバード」式雙晶

近江栗太郡田の上山産

實物大

白色にして鮮明なる晶面を現はし稍光輝あり、「カールスバード」式雙晶を爲し各箇體喰違ひの状を示すものなり、其結晶は  $\infty P \overline{\infty} P$   $2P \overline{\infty} P$  より成るものなり



明治三十七年六月十九日印刷

明治三十七年六月二十三日發行

著作權所有

著作  
發行者兼

東京市牛込區市ヶ谷左内坂町三十六番地

和田維四郎

印刷者

東京市京橋區築地三丁目十五番地

野村宗十郎

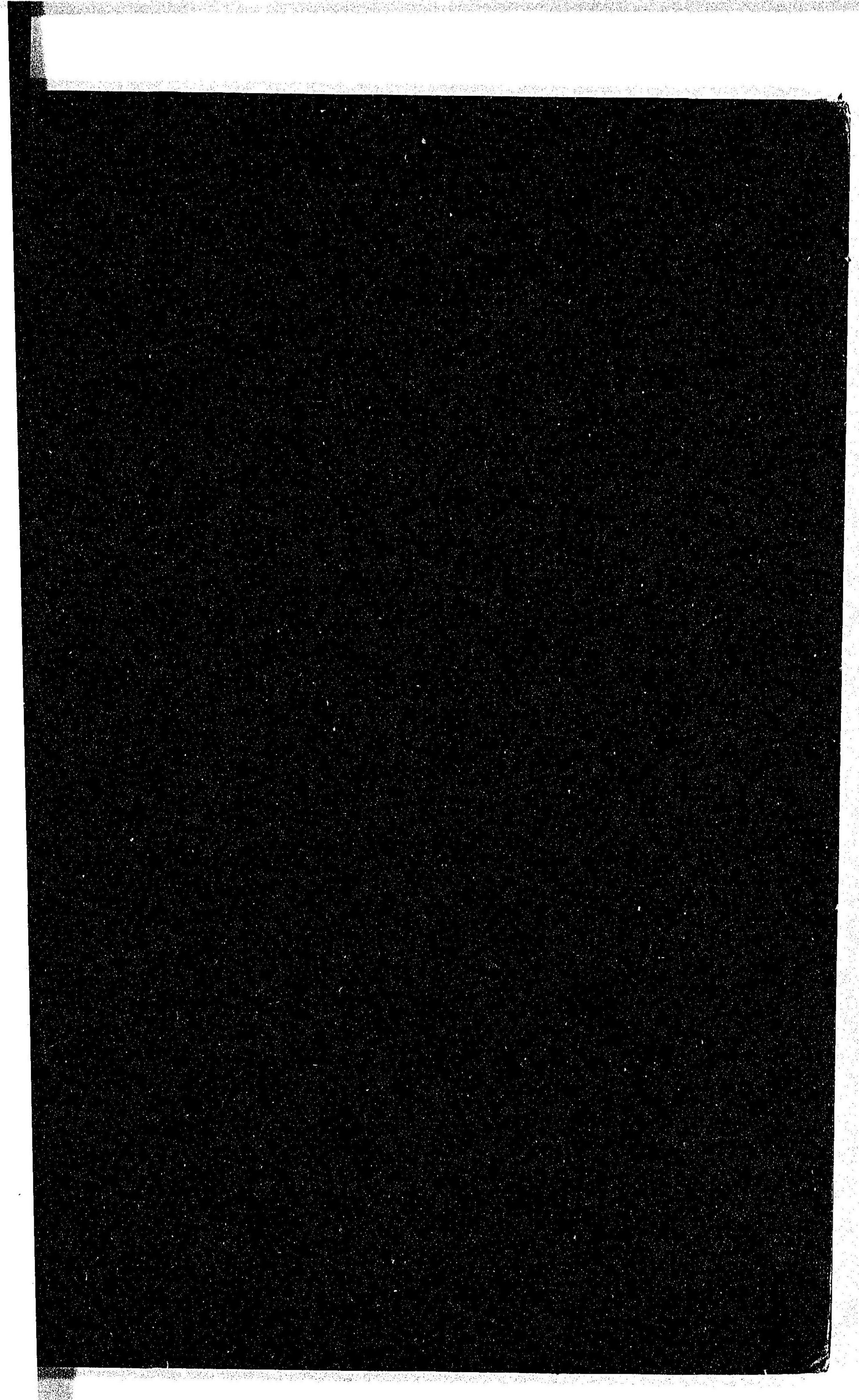
印刷所

東京市京橋區築地二丁目十七番地

株式會社  
東京築地活版製造所

34

262



34

262

056970-000-8

34-262

日本鉦物誌

和田 維四郎/著

M37

CAO-0119



34.12. 3